

独立行政法人日本スポーツ振興センター
令和4年度第2回契約監視委員会審議概要

1 開催日

令和4年8月2日（火）14時00分～16時00分

2 開催場所

本部事務所大会議室1（Web会議システム併用）

3 出席委員（敬称略）

委員長 相葉 和良（弁護士）

委員 宮本 和之（公認会計士） ※Web参加

委員 小林 順治（監事）

委員 大橋 玲子（監事）

4 議題

（1）令和3年度契約案件（令和4年1月～令和4年3月）の事後点検について

（2）2か年度連続一者応札・応募となっている契約案件の事後点検について

（3）その他

5 審議概要

（1）令和3年度契約案件（令和4年1月～令和4年3月）の事後点検について

審議対象期間における契約案件161件のうち、以下の6件（競争性のある契約3件、競争性のない随意契約3件）を抽出し、競争性の確保に関する点検を行った。

委員の質問及びそれに対する回答並びに委員の意見のうち、主なものは次の通りである。

◆契約件名：「映像ネットワークのSOC及びCSIRTセキュリティ対策」

契約種別	落札率	留意する点検事項
役務	96.12%	競争入札において応札者が一者のみ

（質問）公告期間は何日間取っているのか。

（回答）規程上は10日以上となっているが、自主的取組として、10営業日以上公告期間を確保することとしている。

（意見）辞退者から「導入からサービス開始までが短納期であるため」との意見もあることから、公告の開始時期の前倒しを検討していただきたい。

（回答）承知した。

◆契約件名：「ハイパフォーマンススポーツセンター管理・運營業務委託」

契約種別	落札率	留意する点検事項
役務	99.91%	競争入札において応札者が一者のみ

（質問）施設の種類ごとに分割することは検討していないのか。

(回答) 施設によって実施業務が異なる訳ではなく、施設横断的に管理者を配置している。施設単位にすることにより、管理者数の増配置に伴って管理コストの増加等が懸念されることから、一括して発注した方がスケールメリットがあると考えており、分割することは検討していない。

(質問) 業務実施期間を3年より長く設定するべきと思われるが、3年としている理由は何か。

(回答) 通常はオリンピックサイクルの4年間としているが、オリンピック延期に伴い、前契約期間も1年延長したことから、本契約については、3年間としているものである。

(質問) 要求水準書の分量が相当あるので、業務量、必要人数を割り出すのに相当期間必要と考えるがいかがか。

(回答) 現行業者の方が有利であることは否定しないが、現行業者も競争の上、受託しているので、新規参入を妨げるものではないと考えている。

(意見) 金額的にも大きい案件であり、競争性を高めるために、公告期間の前倒し、仕様を分かりやすくするなど、検討いただきたい。また、分割、一括発注のいずれにメリットがあるのか、シミュレーションすることも検討していただきたい。

(回答) 承知した。

◆契約件名：「ハイパフォーマンススポーツセンター レンタカーの賃貸借」

契約種別	落札率	留意する点検事項
借上げ	91.85%	競争入札において応札者が一者のみ

(質問) レンタカーの利用目的、利用頻度を教えてください。

(回答) 全国各地でのアスリートの強化現場でのサポートに使用することが多く、令和3年度は月6~20回程度の利用実績がある。

(質問) 仕様に定める車種が用意できない場合はどうなるのか。

(回答) こちら側で別の手段を検討することになるが、頻度は少なく大きな支障は生じていない。

(質問) 乗り捨ての場合に係る費用は本契約の範囲外で別途支払いを行うことになるのか。

(回答) 乗り捨ての有無によってそれぞれ単価を定めて契約している。

(質問) 事業者へのヒアリングでは仕様に定められた車種の用意が難しいとの回答があるが、今後、仕様書の変更は想定しているか。

(回答) 荷物運搬を要することも多く、バンタイプも必要なので、仕様変更は想定していない。

◆契約件名：「機器貸出管理システムの利用」

契約種別	落札率	留意する点検事項
役務	100.00%	少額随契を除く随意契約のうち競争性のないもの

(質問) 複数年度に渡り継続して随意契約をしている案件については、毎年度その理由を点検しているのか。

(回答) 同一案件については、必ずしも毎年点検を実施しているものではないが、案件によっては、状況に変化がないか確認は必要と考えている。

(質問) 物品管理システム自体は複数存在すると思うが、本件仕様を満たすものは、このシステムしかないと言い切れるものなのか。

(回答) 必要な業務を行うに当たり、物品管理上の様々な条件をクリアできるのは、本製品しか

ないと理解している。

(意見) 随意契約理由書の記載内容だけでは、他の製品でも可能ではないかとの疑義が生じるので、理由については競争性がないことが分かるよう詳細に記載していただきたい。

(意見) 随意契約理由の再点検について、検討していただきたい。

(回答) 承知した。

◆契約件名：「国立競技場における東京 2020 大会聖火台の屋外常設設置に伴う部材補強等業務」

契約種別	落札率	留意する点検事項
役務	97.82%	代理店証明等の証明書がない随意契約

(質問) 式典用聖火台の無償譲渡は当初から決められていたものなのか。

(回答) 国立競技場の敷地内におくことは政府部内の会議で決められており、スポーツ庁等との協議の上、外構に設置することとなった。それに基づき、組織委員会との間で無償譲渡契約を締結した。

(質問) 意匠権を損なわないためには、一般競争に付すことは難しいと判断したのか。

(回答) 意匠権を侵害しないためには、聖火台の制作を統括していた事業者と随意契約を締結するのはやむを得ないと判断した。

◆契約件名：「国立競技場の運営管理に係る民間事業化に向けたアドバイザー業務の委託」

契約種別	落札率	留意する点検事項
役務	100.00%	代理店証明等の証明書がない随意契約

(質問) 令和 3 年度より一連の業務を実施しているとのことだが、当初から複数年での契約を検討できなかったのか。

(回答) 当初よりアドバイザー業務が翌年度も継続することは分かっていたが、スポーツ庁の方針を踏まえ、毎年度の業務の内容やスケジュールを決定し、仕様書とする必要がある事業である。このため、複数年契約として方針変更のたびに変更契約を重ねるよりも、年度ごとに契約を締結することが望ましいと判断した。

(質問) 同種の業務は翌年度以降も継続するのか。

(回答) 現在、スポーツ庁が「大会後の運営管理に関する基本的な考え方」の内容の見直しを検討している状況ではあるが、現状を踏まえると、翌年度以降も継続するものと考えている。

(意見) 仕様に「業務の引継ぎ」に係る事項が記載されていないことから、次年度も随意契約でないとできない仕様となっているので、他事例を参考にして、仕様に「業務の引継ぎ」に係る事項を盛り込むことを検討していただきたい。

(回答) 承知した。

(2) 2 か年度連続一者応札・応募となっている契約案件の事後点検について

令和 3 年度において一般競争入札を実施した結果、2 か年度連続一者応札となった 22 件について、内容の点検を行った。

委員の質問及びそれに対する回答並びに委員の意見のうち、主なものは次のとおりである。

- ① 国立スポーツ科学センター 各種研究用システムの保守点検
- ② トレーニング映像収録システム等の保守業務委託
- ③ ハイパフォーマンススポーツセンター ネットワーク機器の保守
- ④ ハイパフォーマンススポーツセンター 風洞実験装置及び天秤装置の整備点検
- ⑤ 会話型数値解析プログラム MATLAB のソフトウェア保守
- ⑥ 国立スポーツ科学センター スポーツ科学形態・代謝画像情報解析システム関連機器の保守点検トレーニング映像収録システム等の保守業務委託

(質問) 2 か年度連続一者応札であるものの、落札業者が変わっているものについて、前年度の業者に、入札に参加しなかった理由は確認しているか。

(回答) 前年度の業者が資料配布を受けていないので、ヒアリングできなかった。

(質問) 特性がない業務について、公告の開始時期を早めることは難しいのか。

(回答) 契約案件も相当にあり、現状でもタイトなスケジュールで手続きを実施しているので、全体的に前倒しを行うためには、契約依頼部門を含めて全社的に取り組んでいく必要がある。

(意見) 本案件のうち、何件かをサンプリングして、公告開始を早めてみるなど、検討していただきたい。

(回答) 承知した。

- ⑦ 「アスリート育成パスウェイ」ウェブサイトのサーバ手配、ページ移管作業及び保守運用業務等の委託
- ⑧ 「ハイパフォーマンススポーツ・カンファレンス 2021」(オンライン開催)に係る運営・管理業務の委託
- ⑨ 「ハイパフォーマンススポーツセンターネットワークの構築事業 ハイパフォーマンススポーツセンターネットワーク構築会議」に係る運営・管理業務の委託
- ⑩ 基幹システム等運用管理支援体制の調達
- ⑪ 災害共済給付オンライン請求システムの脆弱性診断業務

(質問) 競争参加資格を下位の等級に広げることは難しいのか

(回答) 業務内容にもよるが、検討材料の一つとすることは可能と考えている。

(質問) ⑨について、前年度より公告の開始時期が遅くなっているのはなぜか。

(回答) 新型コロナウイルスの影響等により、仕様を固めるのに時間を要したものである。

(質問) ⑨について、辞退者から「仕様を満たせない」との意見があったとのことだが、詳細は把握しているか。

(回答) 具体的に仕様のどの部分についてなのかまでは確認できていない。

(意見) 一者応札の要因はなるべく詳細に分析されることが望ましいので、ご検討いただきたい。

(回答) 承知した。

- ⑫ ハイパフォーマンススポーツセンター 一般廃棄物処理業務の委託
- ⑬ 新型コロナウイルスハイパフォーマンススポーツセンター利用時検査 検査員派遣業務
- ⑭ 独立行政法人日本スポーツ振興センター動産総合保険付保
- ⑮ 役職員等の健康診断業務及び産業医業務の委託

⑯ 特定業務において年度末に必要となる資金の調達

(質問) ⑭は一者しか応札できないものなのか。

(回答) 保険仲立人にヒアリングしたところ、そのような意見であった。

(質問) ⑯については、他者の参加は難しいのか。

(回答) 契約額が大きくないので、労力に対する利益を見込めず、一者応札となっているのではないかと考えている。

⑰ インソール型スマート足底センサーの購入

⑱ リモートデスクトップソフト「Soliton Secure Desktop」のライセンス購入

⑲ ハイパフォーマンススポーツセンター 水処理薬剤の購入

⑳ 衛生材料（医科）の購入

㉑ 外国雑誌の購入

㉒ 新型コロナウイルス検出試薬の購入

(質問) ⑲・㉒は参加資格を拡大すること可能か。

(回答) 検討材料の一つとすることは可能と考えている。

(質問) ⑱のライセンス数量は前年比でどの程度変更したのか。

(回答) 約半数に減らしたものである。

(3) その他

委員からの意見等は特になし。

6 主な意見

- ・ 「ハイパフォーマンススポーツセンター管理・運營業務委託」について、分割、一括どちらがメリットがあるかのシミュレーションの実施を検討すること。
- ・ 「国立競技場の運営管理に係る民間事業化に向けたアドバイザリー業務の委託」について、今後も継続を予定しているのであれば、仕様に「業務の引継ぎ」に係る事項を盛り込むことを検討すること。
- ・ 随意契約事前点検票の随意契約理由は、競争性がないことが分かるよう詳細に記載すること。
- ・ 複数年に渡り継続して随意契約としている案件については、随意契約理由に変更が生じていないか等の点検の実施について、検討すること。
- ・ できるだけ他者が参入しやすいように、競争参加資格の拡大、公告の開始時期を早める等を検討すること。
- ・ 辞退者からヒアリングについて、可能な限り詳細に理由を把握するなど、一者応札となった要因を分析することが望ましい。